

## 第19回火山噴火予知連絡会議事録

日 時：昭和55年5月22日 13時30分～17時

場 所：気象庁第1会議室

出席者：永田、横山、高木、浅田、下鶴、行武、青木、久保寺、加茂、太田、北村（科技厅）、城野、飯田（文部省）、小野、春山、茂木、高橋、末広、渡辺、田（気象庁）、河村、神沼（幹事）

臨時委員：荒牧（震研）

オブザーバー：染野（国土庁）、竹田（文部省）、熊谷（防災センター）、三宅、久本、金沢（気象庁）、田中、清野（気象研）

庶 務：清水、吉留、斉藤、小宮

1. 第18回連絡会議事録（案）は、一部字句訂正のうえ承認された。

### 2. 最近の火山活動

永田会長：今回は主要火山のレビューもお願いする。

#### 2.1 御 岳 山

青 木 委 員：地震の発生経過 震源分布について

清水（気象庁）：活 動 経 過

下 鶴 委 員：震源分布、地震回数推移

河 村 委 員：地磁気観測結果

田中（気象研）：空中赤外映像による温度測定結果

小 野 委 員：断層方向等について

#### 総 合 検 討

青 木 委 員：3月4月地震が増えたが危険ということではない。

永 田 会 長：観測体制と規制の状況は？

渡 辺 委 員：気象庁は6月から新しい観測体制に入る。

青 木 委 員：特殊な山であるので規制は慎重さが必要。

城 野 委 員：規制により長野県側も岐阜県側も適切な対応をしていただけると考えている。

河 村 委 員：地磁気観測結果も気にする必要はない。

#### 御岳山の火山活動に関する統一見解

「御岳山は昨年10月28日の噴火以来、噴火は発生していない。その後、噴煙活動、地震活動は弱くなりつつも続いているが、最初の噴火を上回るような活動を示す兆候は認められない。なお監視観測は今後も継続する。」

#### 2.2 阿 蘇 山

久 保 寺 委 員：レビュー説明

清水（気象庁）：活動経過

- 田中(気象研)：空中赤外映像による温度測定結果  
河村委員：全磁力観測結果
- 2.3 有珠山  
横山委員：震源分布，隆起速度，上下変動，火口原の地形変化等，並びにレビュー説明  
吉留(気象庁)：活動経過
- 2.4 桜島  
加茂委員：活動経過並びにレビュー説明  
清水(気象庁)：活動経過  
河村委員：全磁力観測結果
- 2.5 霧島山  
下鶴委員：レビュー説明
- 2.6 浅間山  
下鶴委員：レビュー説明
- 2.7 伊豆大島  
下鶴委員：レビュー説明  
行武委員：火口周辺の電気抵抗変化と全磁力時間変化  
小野委員：伊豆大島の地下構造  
永田会長：本連絡会を伊豆大島で開催することについて
- 2.8 樽前山  
横山委員：震源分布等並びにレビュー説明
- 2.9 南硫黄島周辺海底火山  
茂木委員：活動経過
- 2.10 口永良部島  
加茂委員：移動観測結果
- 2.11 その他  
①小野委員：地質図(鹿児島)について  
②春山委員：火山基本図(吾妻山，有珠山ⅠⅡ)について  
③下鶴委員：セントヘレンズ火山の噴火について
- 2.12 主要火山活動レビューの要約  
① 阿蘇山  
「昨年6月から開始した噴火活動は消長を繰り返しながら，本年1月26日の小噴出を最後に，火孔底は閉そくの状態となった。しかし火孔底温度の観測結果では，広範囲に高温域が認められ，この火山活動はまだ完全に終息したとは考えられない。今後再び開孔に伴う火山活動のおそれがある。
- ② 有珠山  
「有珠山の地震活動と地殻変動は減衰を続け，現在最盛時の1/20～1/30である。また，この活動は10～15日毎に間欠的に頻発しており，末期的現象とも考えられる。今後いつ終息する

かについて確信できないが、現在の傾向が続けば昭和55年内に終息する可能性がある。」

### ③ 桜 島

「1977年以降連続噴煙を伴う噴火が目立ち、降灰量の増加、火映、小規模火砕流、土石流の発生がしばしばみられ現在に至っている。現在の各種の調査結果では大規模活動を示唆する変化は認められていない。しかし現在程度の火山活動は継続するものと考えられる。」

### ④ 樽 前 山

「最近の樽前山の火山活動は昭和53年5月と昭和54年2月の2回のピークがあり、地震回数は月間300及び400回の水準に達した。しかし、現在の地震回数は月間20～30回で平常の状態に近い。現在、北大と気象庁の観測体制の連けいは密になったので、火山活動が活発化すれば、直ちに検知できる体制にある。」

## 3. ランドサットデータによる火山活動の研究について

渡 辺 委 員：昭和54年度の研究の実態と55年度の研究計画

茂 木 委 員：薩摩硫黄島周辺の変色水について

神 沼 幹 事：降灰分布について

## 4. 硫黄島帰島問題

城 野 委 員：問題の背景、調査団の派遣等について

高 橋 委 員：火山活動経緯

末 広 委 員：本連絡会が硫黄島火山活動の検討結果を公表することについて

永 田 会 長：どの程度の調査に基づいて結果を出すかが問題である。

城 野 委 員：住民居住の安全性に関する見解が出ると対応しやすい。

永 田 会 長：防災センターで硫黄島の科学的レビューを出していただき、本連絡会で検討したい。

北村委員代理：国土庁の調査結果を本連絡会に報告していただき、防災センターの観測結果とあわせて検討願いたい。

## 5. 連絡会庶務報告

## 6. 協 議 事 項

### (1) 次回連絡会開催期日

火山学会秋季大会（新潟大学、10月23～26日）終了後を予定

### (2) 本連絡会に対する感想について

文 部 省 …… 飯田委員代理

国 土 庁 …… 城 野 委 員

科 技 庁 …… 北村委員代理

[ 17:00 - 17:40 記者会見 気象庁記者室 ]